



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ディー・ディー・エス 上場取引所 東  
 コード番号 3782 URL <https://www.dds.co.jp/ja/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三吉野 健滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 小野寺 光広 TEL 052-955-5720  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	550	△4.2	△187	—	△172	—	△512	—
2020年12月期第2四半期	574	△0.8	△73	—	△117	—	△120	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △520百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△10.63	—
2020年12月期第2四半期	△2.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	3,109	2,427	77.0	49.59
2020年12月期	3,592	2,936	80.7	60.14

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,393百万円 2020年12月期 2,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,302	12.7	△297	—	△283	—	△621	—	△12.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	48,260,063株	2020年12月期	48,210,300株
2021年12月期2Q	一株	2020年12月期	一株
2021年12月期2Q	48,229,270株	2020年12月期2Q	41,832,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

#### 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により景気が下押しされ、依然として厳しい状況にあります。各種政策の効果やワクチン接種も進んできており、景気感は持ち直しの動きもみられてきました。また、半導体の供給不足のリスクが顕在化し、世界経済は予断を許さない状況下にあります。

当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界においては、多様化するサイバー攻撃による情報漏洩事故や、個人情報漏洩等のインシデントが頻発し、官公庁、民間企業や個人を含め相対的に情報セキュリティ対策に対する関心は高まっております。また「ステイホーム」の習慣が定着しつつあること等により、ネット販売、ウェブサービスの利用者増加に伴い、利用者側においては、パスワードにとっかわる、より安全かつより簡単な生体認証に対するニーズが引き続き拡大してきております。

主力のバイオメトリクス事業においては、ゼロトラストセキュリティを構成する重要な要素であるアクセス制御をワンストップで提供すべく、エクスジェン・ネットワークス株式会社と代理店契約を締結し、ID統合管理ソフトウェアLDAP Managerに自社製品と同じレベルの技術サポートを付加販売することとなりました。ID統合管理でのニーズは非常に強く、今期1億円の売上を見込める状況になっております。

また、地方自治体の強靱性向上モデルによる認証基盤の導入から5年が経過し、その買い替え需要も堅調であり、計画を上回る実績・案件創出が進んでおります。

マガタマ・FIDO事業については、FIDO2の開発遅延により普及が遅れておりましたが、不正送金問題や公共性の高い企業のデジタル化に伴い、案件化や受注は進んで来ております。

顧客ごとにカスタマイズし提供するマガタマプラットフォームでは、既に情報通信業1社・サービス業1社の計2社でサービスインがされております。その利用者数は未だ大きな売上貢献はありませんが、徐々に増加しております。さらに新規の案件として、電気・ガス・熱供給・水道業や、金融業、宿泊業、などの業種でFIDO導入に関する技術支援を継続しております。利用者数の増大と新規サービスの立上げを行い、事業を拡大して参ります。

当社が標準サービスを提供し複数の企業・団体にご利用いただくマガタマサービスは、今期に証明書によるデバイス認証を機能追加しました。テレワークの流れにより顧客は増えておりますが、市場での単価が低いため大きな売上貢献はありません。しかしながら、スマートフォンやタブレット、Chromebookで業務を行うニーズも増えており引き続き注力して参ります。さらに、このサービスからマガタマプラットフォームの案件につながる傾向もあり、宣伝効果も含め活用して参ります。両販売形態ともストック型売上の為、当会計年度における貢献は大きくありませんが、売上の下支えとして引き続き経営の安定化につながるビジネスと捉え、注力して参ります。

海外事業につきましては、韓国の元請けSierの検収遅延により当第2四半期連結会計期間では売上計上は出来ませんでしたが、既に財閥系保険会社関連の大型案件を受注しており当連結会計年度内には計上すべく順調に進捗しております。

センサー事業につきましては、コロナ禍によるプロジェクト遅延や商談延期が発生しており、今期中の売上計上が出来るか否か微妙な状況でした。自動車産業での生産停止などで周知されておりますが、コロナ禍と米中貿易戦争の影響での半導体不足により量産化が非常に困難な状況になりました。半導体とそれに関連する電子部品確保の見通しが見えない状況下で量産化の目途が立っておらず、今期中は大きな売上計上は困難であると判断いたしました。既に投下済みの資本は資産計上し、償却中の資産や、当第2四半期連結会計期間に計上予定であった資産も含めすべて費用計上いたします。しかしながら、当該技術の海外も含めた特許取得は順調に進んでおり、近々に当社のけん引する新規事業へ成長させるべく、引き続き注力して参ります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は550百万円（前年同期は574百万円）となりました。損益面においては、販売費及び一般管理費は前年同期比で84百万円増加となりました。主な要因は、前年度において子会社化したMICROMETRICS TECHNOLOGIES PTE. LTD. について第1四半期より損益計算書を連結したことによるものです。これにより、営業損失187百万円（前年同期は営業損失73百万円）、経常損失172百万円（前年同期は経常損失117百万円）となりました。また、特別損失としてセンサー事業に係る資産グループの固定資産について減損損失389百万円が発生し、これにより親会社株主に帰属する四半期純損失512百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失120百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、主として現金及び預金の減少(84百万円の減少)により前連結会計年度末に比べて73百万円(2.7%)減少し、2,628百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金1,710百万円、受取手形及び売掛金408百万円、製品177百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、主としてのれん及び技術資産の減少(392百万円の減少)により前連結会計年度末に比べて409百万円(46.0%)減少し、480百万円となりました。この内訳は、有形固定資産278百万円、無形固定資産19百万円、投資その他の資産182百万円であります。

投資その他の資産のうち、投資有価証券は95百万円で、これは主にNokNokLabs, Inc等に対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、主として前受収益の増加(32百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて36百万円(8.4%)増加し、470百万円となりました。この主な内訳は、買掛金146百万円、賞与引当金13百万円、前受収益151百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、主として繰延税金負債の減少(45百万円の減少)により、前連結会計年度末に比べて9百万円(4.3%)減少し、211百万円となりました。この主な内訳は、退職給付に係る負債36百万円、長期前受収益175百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主として利益剰余金の減少(512百万円の減少)により前連結会計年度末に比べて509百万円(17.4%)減少し、2,427百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当初合理的な業績予想の算出が困難でありましたが、第3四半期以降の見通しがたちましたのでお知らせいたします。

主力のバイオメトリクス事業においては、当第2四半期連結累計期間実績及び第3四半期以降の見通しを踏まえ、順調に進捗しております。

マガタマ・FIDO事業においては、ストック型売上の為、今年度の売上の貢献度はあまり大きくありません。

センサー事業においては、今期中は大きな売上計上は困難であると判断いたしました。

その結果、2021年12月期連結会計年度における業績予想は売上で1,302百万円、営業利益で△297百万円、経常利益で△283百万円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,794,733	1,710,350
受取手形及び売掛金	454,404	408,599
電子記録債権	40,757	44,545
製品	172,869	177,552
役員に対する短期貸付金	193,926	193,926
その他	96,648	98,325
貸倒引当金	△50,862	△4,424
流動資産合計	2,702,477	2,628,875
固定資産		
有形固定資産		
土地	275,083	275,083
その他(純額)	3,710	3,255
有形固定資産合計	278,794	278,339
無形固定資産		
のれん	121,744	—
技術資産	271,000	—
ソフトウェア	20,881	19,713
無形固定資産合計	413,625	19,713
投資その他の資産		
投資有価証券	89,854	95,999
関係会社株式	58,293	32,922
長期貸付金	206,000	206,000
その他	49,669	53,899
貸倒引当金	△206,000	△206,000
投資その他の資産合計	197,817	182,820
固定資産合計	890,237	480,873
資産合計	3,592,714	3,109,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	150,417	146,046
未払費用	51,593	36,135
未払法人税等	10,627	9,417
賞与引当金	7,011	13,075
前受収益	119,164	151,223
その他	95,572	114,761
流動負債合計	434,387	470,660
固定負債		
長期前受収益	141,753	175,022
退職給付に係る負債	33,594	36,023
繰延税金負債	46,070	792
固定負債合計	221,417	211,838
負債合計	655,804	682,499
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,520,760	1,526,059
資本剰余金	1,520,760	1,526,059
利益剰余金	9,668	△503,046
株主資本合計	3,051,188	2,549,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,562	1,790
為替換算調整勘定	△148,297	△157,850
その他の包括利益累計額合計	△151,860	△156,060
新株予約権	2,151	—
非支配株主持分	35,430	34,236
純資産合計	2,936,909	2,427,249
負債純資産合計	3,592,714	3,109,748

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	574,326	550,048
売上原価	290,511	295,850
売上総利益	283,814	254,198
販売費及び一般管理費	357,443	442,082
営業損失(△)	△73,628	△187,884
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,989	995
為替差益	—	13,211
その他	2,124	2,818
営業外収益合計	4,113	17,025
営業外費用		
租税公課	1,455	1,213
支払報酬	442	—
為替差損	45,747	—
その他	69	70
営業外費用合計	47,715	1,283
経常損失(△)	△117,230	△172,142
特別損失		
減損損失	—	389,050
特別損失合計	—	389,050
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,230	△561,193
法人税、住民税及び事業税	963	908
法人税等調整額	—	△46,070
過年度法人税等	2,141	—
法人税等合計	3,104	△45,161
四半期純損失(△)	△120,335	△516,031
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,317
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△120,335	△512,714

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△120,335	△516,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△745	5,353
為替換算調整勘定	20,627	△9,553
その他の包括利益合計	19,881	△4,200
四半期包括利益	△100,453	△520,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,453	△519,037
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,194

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△117,230	△561,193
減価償却費	10,172	8,016
敷金償却費	—	1,368
のれん償却額	—	7,736
技術資産償却額	—	22,960
減損損失	—	389,050
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,628	6,064
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,326	2,075
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,188	△46,502
受取利息及び受取配当金	△1,989	△995
為替差損益 (△は益)	38,704	△13,065
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,271	46,196
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,863	△4,631
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,783	△8,541
立替金の増減額 (△は増加)	△13,650	4,565
未払費用の増減額 (△は減少)	65,545	△15,479
前受収益の増減額 (△は減少)	2,965	32,059
長期前受収益の増減額 (△は減少)	50,973	33,269
その他	9,790	15,803
小計	△31,872	△81,241
利息及び配当金の受取額	50	995
法人税等の支払額	△7,405	△1,928
法人税等の還付額	0	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,227	△82,162
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,359	△375
敷金及び保証金の差入による支出	△41,370	—
貸付けによる支出	—	△5,332
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	233,144	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	190,414	△5,708
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	210,600	—
新株予約権の発行による収入	11,556	—
その他の支出	△9,070	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,085	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△834	3,487
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	363,438	△84,383
現金及び現金同等物の期首残高	224,061	1,794,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	587,500	1,710,350

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△2円88銭	△10円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△) (千円)	△120,335	△512,714
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失(△) (千円)	△120,335	△512,714
普通株式の期中平均株式数 (株)	41,832,332	48,229,270

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。